

衛星による地球環境観測の強化 <いぶき(GOSAT)シリーズの戦略的開発>

GOSATシリーズの目指すもの

- ①炭素循環の解明
- ②地球システムの重大な変化の早期検出
- ③CO2の排出削減努力のモニタリング

観測空白域の大幅削減
吸収排出量推定誤差低減

主要排出国モニタリング

MRVへの貢献

定常観測

GOSAT
(2009~)

GOSAT-2
(2017~) (予定)

GOSAT 3
(2021頃~)

GOSAT 4以降

現行機の成果と後継機の目標

現行機

宇宙から世界を64の地域に分けて二酸化炭素の正味吸収排出量(フラックス)を推定

GOSAT-2

大規模排出国の排出量変化を客観的・定量的に推定

- 主要排出国吸収排出動向のモニタリング
- 特別観測による大規模排出源の監視、REDD+の効果のモニタリング

国際連携の強化

国際的な衛星データの検証体制を構築し、大規模な排出国の正味の吸収排出量の変化を観測し、MRVに貢献することを目指す。

2012年1月：第4回日米宇宙政策協議(民生・商業利用)(ワシントン)で「GOSAT-2」-「OCO-2」の共同検証のための2国間プラットフォーム構築を提案
→ 同協議のアクションアイテムの一つに。
2012年4月：日米首脳会談共同ステートメントにてGHG観測等の地球観測分野での協力について言及

開発体制

環境省(一部センサー開発)・宇宙航空研究開発機構(JAXA、センサー・本体開発、打ち上げ)・国立環境研究所(NIES、データ処理・検証手法開発)の共同で、GOSAT-2開発を今年度より開始。
5月16日、JAXA内でプリ・プロジェクト化に向けた準備審査を通過